

# 保健体育 『生涯スポーツ』 シラバス

北海道常呂高等学校

学年	3	単位数	2	授業形態	一斉			
教科書 (出版社)	なし		副教材等 (出版社)	なし				
学習目標	スポーツについての総合的な理解を通して、その知識を運動の主體的、合理的、計画的な実践に活用できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展に寄与する資質や能力を育てる。また、スポーツの専門的な知識や高度な技能の総合的な活用を目指した課題研究を通して、生涯を通じた豊かなスポーツライフの実現及びスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。							
学習方法	○課題研究や実習などの知識を活用する学習活動を行う。 ○実習、体験、発表などの探求的な活動を重視するとともに、言語に関する能力の育成を図る。							
学習 評価	評価の観点		評価の観点の趣旨					
	ア	知識・技能	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身につけている。技術(技)の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、歴史、文化的特性や現代の特徴、効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。					
	イ	思考・判断・表現	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。					
ウ	主體的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主體的に取り組もうとする。						
評価方法	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
観点	観察	生徒との対話	ワークシート					
ア	○	○						
イ	○	○	○					
ウ	○							

## 学習計画

学期	単元	学習内容	評価の観点			評価規準	評価方法
			ア	イ	ウ		
前期	(1) スポーツの歴史、文化的特性と現代の特徴 (2) スポーツの効果的な学習の仕方 (3) 豊かなスポーツライフの設計 (4) ニュースポーツの実践	「課題研究・実習」 (1) スポーツの振興発展に必要な、文化的、社会的、経済的な背景などの幅広い視点からスポーツを理解する。 (2) スポーツを効果的に学習していくために、技能の上達過程や練習の仕方、健康・安全の確保などについて理解する。 (3) 豊かなスポーツライフを設計していくために、各ライフステージ(生涯の各段階)やライフスタイル(生き方や暮らし方)に応じたスポーツの設計の仕方を理解する。 (4) 様々なニュースポーツを実践し、多様なスポーツや運動への関わりを学ぶ。	○	○	○	(ア) スポーツの特性や魅力を深く味わえるよう主體的に課題に挑戦し、公正、協力、責任、参画などに対する意欲や規範や価値を尊重する意思を持つことができる。  (イ) 自己に適した高度な技能の習得を目指して、科学的知識に基づく適切な練習を行うことや適切なトレーニングなどを取り入れて体力や技能を高めること、視聴覚機材などを用いた自己観察や視点を定めた他者観察を通して課題を明確にし、多様な練習方法の中から適切な解決策を見つけ、課題の程度に応じて、計画を立て取り組むことができる。  (ウ) 様々なスポーツ実践をとおして、自身の運動スキルを向上させることができる。  (エ) スポーツの歴史・文化的特性と現代の特徴、効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方、指導法と安全の確保などについて科学的、社会的、文化的な側面からとらえた教養を身に付けている。また、スポーツの日常に潜む危険を予見し危機を回避し、安全を確保することができ、スポーツを実践するための知識やスポーツを客観的に広い視野でとらえることができる。	①②③
後期	(1) スポーツの知識や実践に関する課題研究と実践発表 (2) スポーツの指導や運営及び管理に関する課題研究	<創作スポーツの作成、発表> (1) スポーツの歴史・文化的特性と現代の特徴、スポーツの効果的な学習の仕方などから、主に「する」「みる」といった視点で関心に応じてテーマを選び、文献研究、実験を通じた仮説検証、調査研究などの課題研究を行い、創作スポーツの実践発表を行う。 (2) スポーツの運営及び管理、スポーツの指導法と安全などから「指導者や管理者としてスポーツをさせる」といった視点で自らの関心に応じてテーマを選び、文献研究、体験、実習などを通じた課題研究を行う。					